

思ふに日清の戦ひに勝ち日露の役に大勝を得獨逸の横暴を懲しめ五大強國の一に列したのも軍人や資本家の力のみならずして是國民全體の忠君愛國の賜で有ります、塵うか諸君吾人の叫びを諒せられるならば日本海員組合の發達増進有らん事に御賛成有られん事御頼して此席を下る次第で有ります。

次に熱田丸乗組舵手田中春吉君は流暢なる口調を以て海員組合の必要を説き此の組合をして國內的にも對外的にも權威あらしめねばならぬと絶叫し深甚なる感動を與へたり。

五月七日日本海員組合發會式祝辭の概要

酒井 桑太郎

本海員組合の宣言書の冒頭に曰はく「各締結國は多數の人民に對する不正困苦及び窮乏を伴ふ現今の勞働状態は大なる社會的不安を醸生し世界の平和協調を危

上勞働者の保障に就ては一層放漫の状態に在りて夫れだけに我海員は不幸の境遇に沈淪してゐるではないか而かも數字の上に於て我邦は世界第三位の海國である、船舶噸數に於て三百八十萬噸、船員三十萬を算する、近時國富の増進は海外貿易の發達に在りて皆これ等船員が死生の巷に出入して齎し來つたものであるに其富の多くが船主、資本家の手中に壟斷せられ第一線に立てる船員の保障は忘られて顧みない斯ういふことが不正及び困苦窮乏を伴ひ遂に平和協調を危殆ならしむる原因とならずして果して何物が其原因たり得るぞ日本海員組合の成立は即ち斯くの如き缺陷を補充し三十萬船員の生活の安全を擁護する機關として存せしめねばならぬ、又對外的に考慮するもゼノアの海員會議に於て我代表等の權威を疑はしむるものありしが背後に強力なる組合の存立するものなかりしが爲めて内外の狀態は如何にしても組合の存立を強要するものがあつて今日あるに至つた、昨年今頃は四十八團體など、稱せられ各自に小團體の分立せるのみ對外的に何等の權威をも認められなかつたは己むを得ぬ今日は等等を合して一團體と爲らざるまでも其或は二又は三に統

殆ならしむるものなり」と此字句は實に對獨平和條約第十三編國際勞働法規の序文に掲げられたる文字にして現今の列國には斯くの如き種々の不正や、困苦窮乏を當然伴ふ状態に在り、之を看過する事は遂に世界の平和協調を危殆ならしむるが故に國際的共通の勞働法規の制定を要するのであるといふ斷案である、然るに世界列邦の勞働状態及び勞働者の爲めに制定せられつゝある諸法規は随分進歩的なるものがあり其然らざるものも亦戦後汲々として之が改善に従事せられつゝあるの狀態であるに尙且つ彼等は之を以て足れりこそす國際的に勞働條件を改造せんとするものであるが吾人をして正直に告白せしむれば、世界列邦の中今日までの大勢の趨く所を察知する能はず多數の人民に對する不正若くは困苦窮乏を伴ふ最悪危険の勞働状態に放置しつゝあるは實に我邦の現状夫れを指す語であると稱して好いと思ふことである。

陸上勞働の状態に就てさへ各位の知らるゝ如く一昨年十月華盛頓における第一回萬國勞働總會に於て結局特殊國扱ひに甘んじ、且つ之に甘んずることの承認を得て満足とし成功と思惟する如き幼稚である況んや海

括さるゝこと夫れが非常の進歩と稱するに躊躇しない吾人は我邦勞働問題の落ち着く所も略々歐米先進國の夫れの如きものであらうとは察知するが各國民には又各國民として特異なる國民性の存する限り全然直譯的に進行するものとは考へられない、政治、風教、社會何れの方面にも我國民性は可成調和性に富んでゐる冷性でなく温味を有する理性に於ては不徹底の誹りはあるにしても情的には相思同愛、敵意も相當の敬意を拂ふが武士道的精神の一つであるから日本海員組合の成立を以て直ちにそれが船主資本家に對する挑戦行爲であり宣戰布告であるとし同盟罷業の發動を近き將來に招徠せしめんとするものゝやう早合點を必要はあるまい。

されど吾人は又常に從順をのみ信條とすることは出來ない吾人の生活を脅威され其安全を破壊されんとする如き際に當り猛然激起するは當然であるが夫れにはそれ相當の準備を要する和戰兩様の準備は組合の將來にも心すべきことである我邦の船主資本家にはさういふ亂暴者はないとしても時に或は弱者苛みの横着な態度に出る者が絶無とは限られない、何ういふ風の吹き